



私たちは、近代の後半にあたる大正～昭和初期に
来ています。ここは、産業が発達してきたある地方
都市の駅前です。交通機関が整備され、現在の私た
ちの暮らしに近づいて来ているようです。



見方・ 考え方

明治時代から大正時代にうつ
変わって、どのような点が変化し
ているのでしょうか。また、なぜそのように変
化したのでしょうか。例えば以下の点などに
注目し、周りの人と話し合ってみましょう。

- ・人々のごらく（娯楽）
- ・場面ごのような人々の政治の参加方法

対話

いろいろな店や乗り物があるね。げんざい
でも私たちの身の回りに残っているもの
はあるかな。





2節の問い なぜ、自由で民主主義的な考え方が広まったのだろうか。



↑1護憲大会で演説する尾崎行雄と演説を聞く人々 (1913年2月)

どうして多くの人々が集まっているのかな。



解説 民本主義

大日本帝国憲法の下、主権がどこにあっても、民衆の考えに基づき、政党や議会を中心とした政治を行うべきであるとする考え方で、政党政治を理論面で支えました。



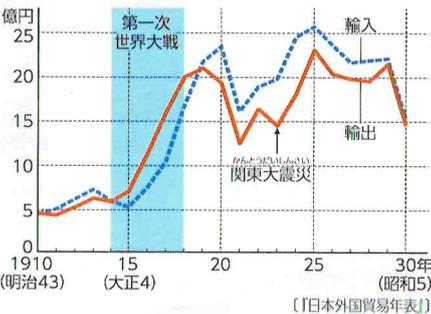
↑2吉野作造 (1878~1933)

→3美濃部達吉(1873~1948) 彼の天皇機関説は学界で支持されていましたが、1935(昭和10)年、国会などで攻撃され、著書は発売禁止となりました。



1 護憲運動と政党内閣の成立

学習課題 第一次世界大戦前から後にかけて、どのようにして自由で民主主義的な風潮が高まったのだろうか。



護憲運動と民主主義

日本では日露戦争の後、政党を中心とした内閣が成立しましたが、藩閥の勢力は依然として強いままでした。1912(大正元)年には、立憲政友会を基礎とした内閣が陸軍の反対で倒れた後、陸軍出身の桂太郎が新内閣を組織しました。

この状況に対して、憲法に基づく政治を守ろうという運動(第1次護憲運動)が起こりました。その中心となったのは、尾崎行雄ら国会議員に加え、新聞記者や市民たちでした。そして翌13年、桂内閣は辞職に追い込まれました。民衆の政治運動で内閣が倒れたのは、議会の開設以来、初めてのことでした。

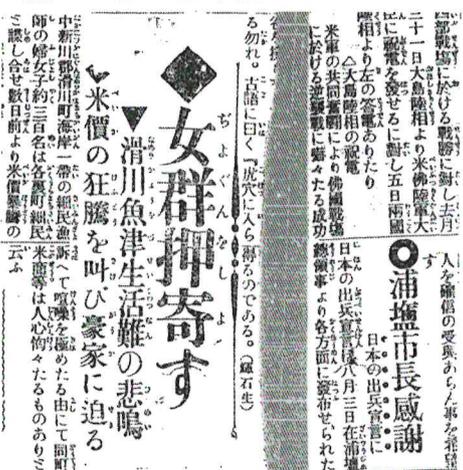
第一次世界大戦中から戦後にかけて、民主主義を求める動きが世界中に拡大しました。日本では、政治学者の吉野作造が民本主義を唱え、政治に民衆の考えを反映すべきだと主張しました。この主張は、青年をはじめ、多くの人々に影響を与えました。法学者の美濃部達吉は天皇機関説を唱え、憲法論で政党政治を支えました。

日本経済の急成長

第一次世界大戦中に世界経済で力を伸ばしたのが、戦場とならなかった日本とアメリカでした。

日本では、戦争に必要とされた船舶や鉄鋼などが生産され、重工業が急成長しました。これによって、輸出額が輸入額を上回り、貿易

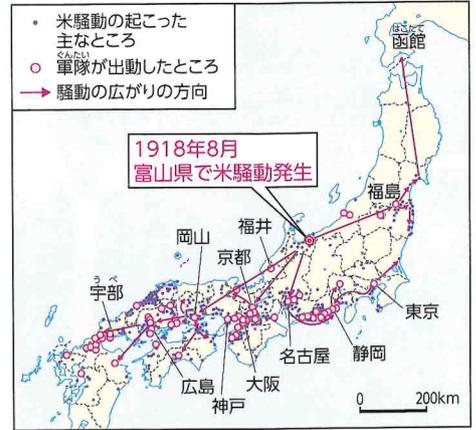
↑4日本の輸出入額の変化



↑5米騒動を伝える地元の新聞 [北陸タイムズ 1918年8月8日]



←6米騒動 名古屋の米騒動を描いたもので、多くの労働者も参加し、以後、社会運動が高まりました(→p.241)。[桜井清香作「米騒動絵巻 二巻」(愛知県 徳川美術館蔵)]



↑7米騒動の広がり

[原敬記念館提供]

原敬

1856~1921

「平民宰相」とよばれた首相



盛岡藩(岩手県)の藩士の子として生まれ、東京でフランス語や法律を学び、新聞記者・外交官などを経て、立憲政友会に参加し、政治の道に入りました。1918年、内閣総理大臣になり、華族でも藩閥出身でもないことから、「平民宰相」とよばれました。原内閣は、インフラ整備や学校の増設などで、地方の有権者から支持を得ました。それをもとに、当時まだ力をもっていた山県有朋ら元老(→p.202)や軍と渡り合いながら、政党政治の基盤を強化しました。しかし1921年、東京駅で青年に襲われて亡くなりました。

① 一般市民から選ばれた陪審員が、専門の裁判官とは独立して、被告人が罪を犯したかどうかの結論を出す制度です。日本では1923年に陪審法が制定されましたが、第二次世界大戦中に停止されました。

護憲運動が発展した理由を、本確認しよう 文から書き出そう。

政党内閣が強い指導力を発揮で説明しよう きた理由を説明しよう。

易収支が赤字から黒字になりました。この好景気(大戦景気)のなかで、成金とよばれる金持ちが増えました。また明治以来、日本経済の中心にいた三井・三菱などの財閥もさらに力をつけました。

一方で、好景気によって物価が急上昇し、賃金の上昇が追いつかなかったため、庶民の生活は苦しくなりました。また、大戦中に工業国になった日本では、工業生産額が農業生産額を追い越しました。都市が発展して食料の消費量も増えました。そこにシベリア出兵が決定され、軍が大量の米を購入すると予想した商人たちが米を買い占めたために、米の値段が急激に上がって米不足が進みました。

米騒動と政党内閣の成立

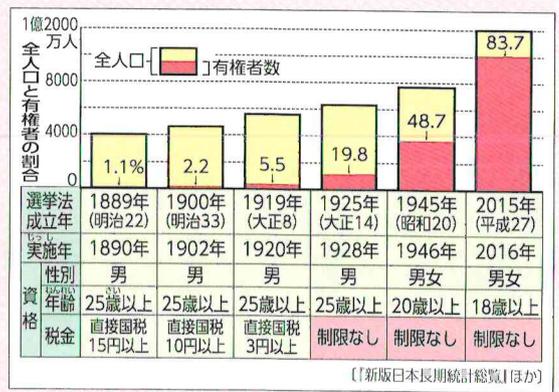
1918年7月、富山県の漁村の主婦が、米の県外への積み出しに反対し、安売りを要求しました。この動きは翌8月になると、米屋などが襲われる米騒動となり、すぐに京都・名古屋・神戸・東京など全国の都市に広がりました。政府は米騒動をすずめようと、警察だけではなく軍隊を出動させました。また、朝鮮や台湾でも政府が米を買い集めたため、これらの地域でも米の値段が上がり、米騒動が起きました。

こうしたなか、政府への批判が高まって軍人出身の首相が辞職し、同18年9月、立憲政友会の原敬が内閣を組織しました。原内閣は、大部分の閣僚を衆議院の第一党である立憲政友会の党員が占める、初めての本格的な政党内閣でした。米騒動で示された世論の力の大きさを背景とした同内閣は、宮中、貴族院、軍や植民地にまで影響力を及ぼしました。選挙権の拡大や、陪審制導入による裁判への民意の反映、国際協調外交の推進など、強い指導力を発揮しました。

縄文
弥生
古墳
飛鳥
奈良
平安
鎌倉
南北朝
室町
戦国
安土・豊臣
江戸
明治
大正
昭和
平成
令和



↑1 第1回普通選挙の投票所の様子(東京、1928年)



↑2 有権者の増加 **小地公**

→3 第1回普通選挙のポスター [法政大学大原社会問題研究所蔵]



このころ、投票権をもっていたのは、どのような人かな。

2 社会運動の高まりと男子普通選挙の実現

2節の問い なぜ、自由で民主主義的な考え方が広まったのだろうか。

① 選挙で第一党となった政党が内閣をつくることは「憲政の常道」とよばれました。



学習課題

民主主義を求める社会運動は、どのように展開したのだろうか。

男子普通選挙と治安維持法

原内閣の後、1923(大正12)年、再び政党を無視した内閣が成立すると、翌24年、第2次護憲運動が起こり、普通選挙を求める声も高まりました。同年の総選挙では憲政会が初めて第一党となり、護憲をスローガンとする複数の政党が協力して政権をつくりました。この加藤高明内閣の下で、1925年にいわゆる普通選挙法が成立し、25歳以上のすべての男性に衆議院議員の選挙権を与える**男子普通選挙**が実現しました。加藤内閣成立以降、政党内閣は8年間続き、憲政会(後の立憲民政党)と立憲政友会の二大政党が交互に政権を担当しました。この間、国内では軍備の縮小、外交では国際協調の方針がとられました。

普通選挙運動が活発化し、民本主義が唱えられるなど、民主主義(デモクラシー)を求める動きが盛んになったこの時代の風潮を、**大正デモクラシー**といいます。

一方、男子普通選挙が実現した同25年、政府は**治安維持法**を成立させました。この法律は、天皇に主権がある国家体制を変えようしたり、私有財産制度の廃止を主張したりする社会主義者に対して、重い刑罰を科するものでした。その後、改定によって刑罰が強化され、社会運動全般の取り締まりに利用されました。

治安維持法(1925年制定)

一、国の体制を変えようとしたり、私有財産制度を否定したりすることを目的として結社をつくる、またはこれに加入した者には、10年以下の懲役、または禁固の刑に処する。

治安維持法(1928年改定)

一、国の体制を変えようとするを目的として結社を組織した者、結社の指導者の任務についた者は、死刑または無期、もしくは5年以上の懲役、もしくは禁固の刑に処する。
【一部要約】

資料活用 1925年と1928年のものでは、どのような点が異なっているだろうか。

差別の問題は、明治時代後半になると再び社会問題として注目され(→p.187)、差別をなくそうとする運動が各地で起こっていました。しかし、社会全体を動かすまでには至りませんでした。

こうした状況を大きく変えたのが、1917年のロシア革命(→p.231)や、翌18年の米騒動(→p.239)でした。被差別部落の人々が米騒動に多数参加したため、政府は生活改善の対策をとる必要があると考えました。しかし、政府に頼るだけでは差別問題は解決しないとして、被差別部落の人々は、1922年に全国水平社を結成して平等な社会の実現を目指し、みずからの力で差別をなくそうと立ち上がりました。また、被差別部落の人々によって銀行もつくり、近代化が目指されました。

→4 差別との闘いを訴える参加者 (1924年) **小地公**

↓5 差別された人々によってつくりられた柳原銀行(京都市)



水平社宣言(1922年)

全国に散在するわが部落の人々よ、團結せよ!!…人の世の冷たさがどんなに冷たいか、人をいたわることがなんであるかをよく知っているわれわれは、心から人生の熱と光を願求礼讃するものである。水平社はかくして生まれた。

人の世に熱あれ、人間に光あれ。

[一部要約・抜粋]

女性による社会運動

女性差別の解消を求める運動も盛んになりました。 (p.237D3)

1911年に平塚らいてうらが青鞥社をつくり、女性

に対する差別や古い慣習を批判しました。1920年代には、市川房枝らも運動に加わり、女性の政治集会への参加が認められましたが、

5 女性の選挙権獲得は1945年まで待たなければなりませんでした。 (p.233, 280)

労働争議と小作争議

ロシア革命や欧米の労働運動に影響を受け、労働者による社会運動も盛んになりました。労働者は団

結して、労働組合をつくりました。そして経営者に対して労働条件の改善を求め、労働争議を起こしました。やがて、労働者の全国組

10 織である日本労働総同盟もできました。農村でも、小作人が地主に

小作料の引き下げを求める小作争議を起こしました。後に農民や小

作人の権利を守るための全国組織である日本農民組合もできました。

社会主義は弾圧されていましたが、第一次世界大戦後に再び盛んになり、1922年に日本共産党がひそかに結成されました。

15 「解放令」が出された後も、働く条件や結婚な

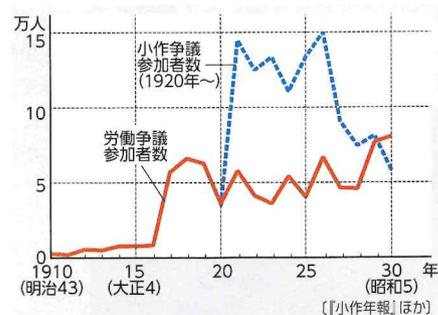
解放を求めて立ち上がる人々

どの差別はなくならなかったため、みずからの手による平等な社会の実現を目指して、1922年に全国水平社が結成されました。また、アイヌ民族も、北海道アイヌ協会を創立し、各地域のアイヌ民族が交流し、結束しました。

20 一方、台湾では1920年代から議会の設置と自治を求める運動が行われ、朝鮮でも日本からの独立を目指す運動が高まりました。

機関誌「青鞥」発刊に際して
元始、女性は実に太陽であった。真正の人であった。今、女性は月である。他に依って生き、他の光によって輝く、病人のような蒼白い顔の月である。
[「青鞥」より抜粋]

アクティビティに挑戦 →p.248



↑6 労働争議と小作争議の高まり

確認しよう
大正デモクラシーの時期に展開した社会運動を、本文から書き出そう。
説明しよう
民衆にとっての大正デモクラシーの成果と問題点を挙げ、その理由を説明しよう。

縦文
1 弥生
2
3
4 古墳
5
6
7 飛鳥
8 奈良
9
10 平
11 安
12
13 鎌倉
14 南北朝
15 室町
16 戦国
17 安土・徳川
18 江戸
19 明治
20 大正
21 昭和
平成
令和



都市に出現した「モダン」な人々と文化

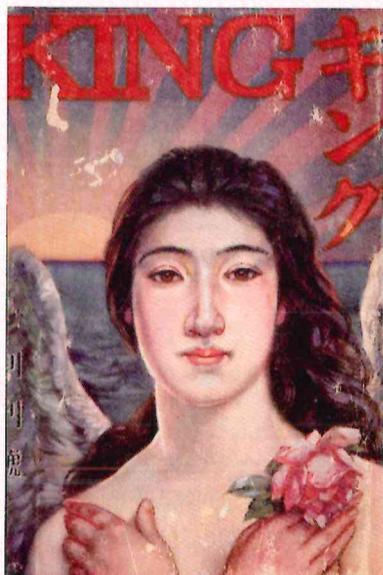
↑1914年に完成した東京駅 日本最大のターミナル駅となった東京駅は、鉄道を利用する多くの学生やサラリーマンでにぎわいました。【東京停車場之図】1918年制作 埼玉県 鉄道博物館蔵

明治時代初期(→p.220)と比べて、どのような違いがあるかな。



↓2雑誌「キング」の創刊号の表紙 発行部数100万部を突破した人気雑誌です。大量印刷が可能な機械の登場も、この時代の文化を支えました。

→3東京を歩くモガ 女性の服装も、着物から洋服に変化しました。髪を短く切り、おしゃれをして街を歩く若者たちは、モダンガール(モガ)、モダンボーイ(モボ)とよばれました(→p.236B2)。



【(公財)日本近代文学館蔵】

「キング」創刊号の掲載記事

いつも若々しく快活に暮らす工夫
屋台店から名店舗となるまで
(成功美談)

武勇小説 吉川英治著 剣難女難

ありの生活物語(生活科学)

世界珍聞新知識

偉人傑士異聞秘録 東郷平八郎

など



→4竹久夢二作「黒船屋」 大衆向けの絵画が生まれ、夢二が描いた雑誌の挿絵は女学生の熱狂的な支持を得ました。

【(公財)竹久夢二伊香保記念館蔵】





未来に向けて 人々を魅了した洋菓子文化

人権・多文化

洋菓子の普及には、第一次世界大戦期の変動が大きく関わっています。この大戦で日本の捕虜となったドイツ人兵士ユーハイムは、戦後、日本でバウムクーヘンの製造と販売を始めました。また、ロシア革命で亡命したロシア人モロゾフも、日本に移住し、チョコレート菓子の事業をおこしました。両者はいずれも神戸に本店を構え、日本人を魅了しました。

↓創業当時のモロゾフの商品



↑明治時代の台所(左)と文化住宅に取りつけられた台所(右) [東京都 新宿歴史博物館提供]

資料活用 明治時代と比べて、文化住宅の台所は、どのような点が変化しているだろうか。

←ラジオの前に集まる家族 (1925年) ラジオ放送は、1925年から始まり、翌年に日本放送協会(NHK)ができました。

未来に向けて インフルエンザ流行による生活の変化

平和・安全

第一次世界大戦末期からのインフルエンザウイルスの感染拡大は世界的影響(→p.229)を与え、日本にも大きな影響を及ぼしました。当時はウイルスが原因であることは未解明でしたが、感染が飛まつによって拡大することは知られており、これ以降マスク着用の習慣が日本人に広がりました。また、不十分なものながらワクチンも開発され、予防接種が推奨されました。



→16 予防接種を呼びかける内務省衛生局のポスター [内務省衛生局 著「流行性感冒」(1922年)より、国立保健医療科学院図書館蔵]

大衆に広がる文化

学校教育を受けて育った大衆は、大正デモクラシーなどの影響を受け、政治や社会の動きに高い

関心をもっていました。そのため、発行部数が100万部を超える新聞も現れ、多くの総合雑誌や女性・児童向けの雑誌が出版されました。また、1冊1円(現在の約4千~5千円)の円本や、文庫本の発刊により、富裕層だけでなく多くの人々が文学に親しむようになり、芥川龍之介や志賀直哉といった、社会の変化と個人の生き方を追究した作家が人気を集めました。さらに、日本初のプロによるオーケストラが音楽家の山田耕筰により組織され、美術展覧会も各地で行われるようになり、人々が芸術に触れる機会は増えていきました。

欧米化する人々の生活

第一次世界大戦後、世界と日本の関わりがより密接になり、都市化が進展するなかで、生活習慣の欧米化が進みました。比較的裕福なサラリーマンなどは、広い土地を求めて郊外に移り、欧米の様式を取り入れた新しい住宅(文化住宅)に住みました。ターミナル駅のほか、通勤用の電車も整備され、都市と郊外が結ばれました。東京では、浅草・銀座などを結ぶ地下鉄

1923(大正12)年9月1日、神奈川県西部を震源とするマグニチュード7.9の大地震が東京や横浜を直撃しました。各家庭で昼食の準備をしている時間でもあったため、すぐに大火となり、死者・行方不明者10万5千人以上、被災者340万人以上という大きな被害を出しました。

死者の約9割は、火災が原因だったといわれています。住宅や工場が都市に密集していたことが、被害を大きくしました。こうした反省から、大震災後に後藤新平らを中心に復興計画が立てられ、道路を広くし、避難用の公園を設けるなど、計画的なまちづくりが進められました。

震災の被害は、海外にも大きな衝撃を与えました。イギリス、アメリカや中国からは多数の義援金が寄せられ、日本とそれらの国々との外交関係が一時改善しました。

一方、震災直後の混乱のなか「朝鮮人が暴動を起こす」という根拠のないうわさが流れ、自警団をつくった住民によって朝鮮、中国の人々や社会主義者が殺される事件も起こりました。



↑17地震で倒壊した銀座の市街地



↑18震災後につくられた銀座の大通り



←19後藤新平(1857～1929) 岩手県出身の官僚で、南満州鉄道会社総裁を務めました。満州経営の経験を生かし、震災後の復興事業に取り組みました。

→20震災後に隅田川に架けられた橋 震災後の復興事業として、隅田川には耐震性の高い鉄橋が建設されました。鉄橋は、それぞれが特徴的なデザインとなっています。



も開通しました。1923(大正12)年の関東大震災後は、地震に強い鉄筋コンクリートなどでできた公共の建築物が増えました。

ガス・水道・電気が家庭にも普及し、ラジオ放送も始まりました。

食事では、カレーライス・オムレツ・コロッケなどの洋食が広がったほか、ラーメンなどの中国料理も一般化しました。

日本在住の欧米人や欧米に留学した日本人などによって、ケーキ、チョコレートなどの洋菓子も普及しました。休日には、都市に出て百貨店で買い物をしたり、映画を鑑賞したりして、「余暇」を楽しむ人も増えました。野球やテニスなど、欧米のスポーツも人気が出てきました。

生活習慣の欧米化は農村にも広がり、やがて都市に出て勉強することが、豊かな生活につながるという考えも生まれました。

見直される 伝承や文化

古くから受け継がれてきた、民衆の生活や習慣を見直す動きも生まれました。柳田国男は、農村を訪ねて各地に残る伝承などを記録し、民俗学を提唱しました。

そうしたなか、沖縄固有の文化やアイヌの伝承も見直されるようになりました。アイヌ民族のなかには、著作や新聞紙上を通じて、アイヌの現状やみずからの考えを表現する人のほか、選挙によって地方議会の議員となる人物も現れました。

『アイヌ神謡集』序(1923年)

その昔この広い北海道は、私たちの先祖の自由の天地でありました。天真爛漫な稚児の様に、美しい大自然に抱擁されてのんびりと楽しく生活していた彼等は、真に自然の寵児、なんという幸福な人だちであったでしょう。…今の私たちの中からも、いつかは、二人三人でも強いものが出て来たら、進みゆく世と歩をならべる日も、やがては来しましょう。…

【知里幸恵『アイヌ神謡集』より、抜粋】

→21知里幸恵(1903～22)

アイヌの少女であり、アイヌの神々の物語にローマ字でのアイヌ語表記と日本語訳をつけて、『アイヌ神謡集』にまとめました(→p.133)。



確認しよう

大正時代に広まり、現代にも続いている文化や習慣を、本文から三つ以上書き出そう。



説明しよう

大衆文化が誕生した理由や背景を説明しよう。

Table with 2 columns: Page number and Chapter/Section title. Includes entries like 縄文, 弥生, 古墳, 飛鳥, 奈良, 平安, 鎌倉, 南北朝, 室町, 戦国, 安土・桃山, 江戸, 明治, 大正, 昭和, 平成, 令和.

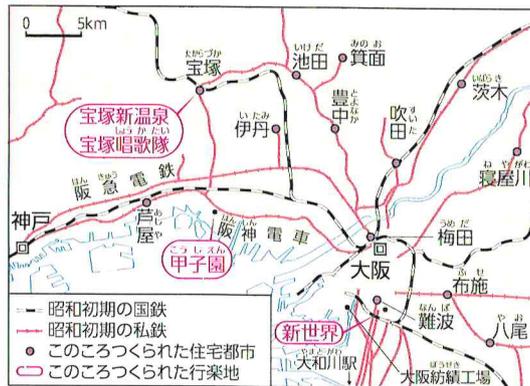
1 大阪・神戸の発展



↑1 新世界ルナパーク (大阪府大阪市、1912年)



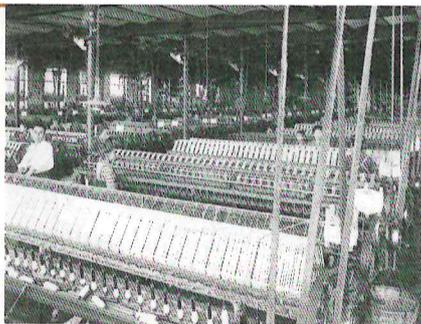
↑2 阪急電鉄のポスター (1921年ごろ)
[阪急文化財団 池田文庫蔵]



↑3 大阪・神戸周辺の鉄道路線

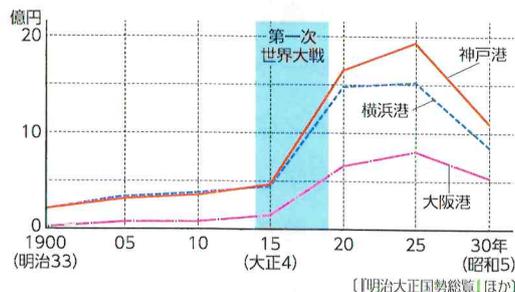
歴史プラス+ 「東洋のマンチェスター」 大阪と神戸港

近代的な綿糸紡績業が発達した大阪は、産業革命の発祥地であるイギリス(→p.166、168)の都市マンチェスターになぞらえて「東洋のマンチェスター」とよばれるほど繁栄し、工場の煙は発展の象徴でした。そこでつくられた綿製品は神戸港から輸出されました。



↑4 大阪紡績会社の工場(1908年ごろ)

[東洋紡提供]



↑5 貿易額の変化 (資料活用) 1915~25年における神戸港と横浜港の違いを説明してみよう。

① 明治以降、大阪・神戸はどのように発展したのかな?

1882(明治15)年、大阪に民間の大阪紡績会社が設立され、蒸気機関を原動力とする大規模な近代的紡績工場が建てられました。その後、大阪には次々と紡績会社が設立され、1894年には全国の綿糸の40%以上を生産するようになりました。横浜港(→p.192)が、長野や関東で生産した生糸をアメリカへ輸出する港であるのに対して、神戸港は、インドから綿花などを輸入して大阪で生産した綿製品をアジア各国へ輸出する港でした。

軽工業が発達した大阪では1903年、内国勸業博覧会が開かれました(→p.218)。入場者は約440万人で、大変な

にぎわいでした。博覧会の跡地には遊園地「新世界ルナパーク」が、1912(大正元)年にはパリのエッフェル塔をまねた初代通天閣が建てられ、大阪のシンボルとして親しまれました。

そのようななか、綿製品の最大の輸出国であったイギリスが第一次世界大戦で力を失ったことに加え、横浜港が1923年に起こった関東大震災によって被害を受けたこともあり、神戸港は輸出货量が急増し、日本最大の貿易港になりました。大正から昭和初期にかけては重工業も発達し、阪神地域は当時日本最大の工業地帯として栄えました。



疑問

近代以降、大阪や神戸とその周辺では軽工業や重工業が発展し、私鉄の沿線には人々が余暇を楽しめる施設が次々とつくられたようだ。工業の発展と、私鉄の沿線の開発には、どのような関係があるのかな。

主な関連事項と関連ページ

日本の産業革命 p.214~215
日本経済の急成長 p.238~239
都市化・生活の欧米化 p.243~245

2 私鉄とその沿線の発展



↑6 梅田阪急ビル(1931年) [阪急電鉄株式会社提供]



↑8 阪急百貨店の食堂 食堂は百貨店の最上階(8階)に設けられ、ライスカレーが大人気でした。 [阪急電鉄株式会社提供]

→7 当時の洋食のメニュー

紅茶	コーヒー	アイススクリーム	プリン	カツレツ	シチュー	コロツケ	オムレツ	ピフテキ	ライスカレー	メニュー(抜粋)
5 銭	5 銭	10 銭	10 銭	30 銭						



↑9 宝塚少女歌劇団の公演(1930年) 阪急電鉄の創業者、小林一三が宝塚新温泉の集客のため、1913年に組織した宝塚唱歌隊が始まりで、歌と踊りなどを組み合わせた公演が行われました。 [©宝塚歌劇団]

↓10 阪神甲子園球場 [阪神電気鉄道株式会社提供]



↓11 全国中等学校優勝野球大会 (現在の全国高等学校野球選手権大会)の始球式 この大会は1915年に始まりました。野球人気の高まりを受けて広い球場が必要とされたため、1924年、阪神電気鉄道が沿線に野球場を建設しました。 [大阪府 豊中運動場 朝日新聞社提供 1915年撮影]



当時の新聞社の社長

2 なぜ大阪～神戸間で、私鉄とその沿線が発展したのかな？

大阪の私鉄は、1884(明治17)年に日本で初めて民間の資本だけで設立された阪堺鉄道(現在の南海電鉄)が、難波～大和川間を開業したことから始まります。大阪では、工業の発展で蓄えた富を使い、現在の阪神電気鉄道や阪急電鉄、近畿日本鉄道(近鉄)などの私鉄各社が創業しました。神戸・京都・奈良・和歌山などを結ぶ路線も開通し、沿線には住宅地などがつくられ、特に神戸で開発が進みました。

阪急電鉄は輸送需要を増やす方法として、沿線付近の住宅地を開発して、販売に乗り出しました。土地と住宅は、

サラリーマンでも購入できるよう、月ごとに少しずつ支払う方法で販売されました。また、宝塚駅の周辺には動物園や温泉、宝塚唱歌隊(現在の宝塚歌劇団)などがつくられ、観光地と住宅地が鉄道で結ばれたことによって、乗客は1層増えました。

さらに路線を神戸へ延ばす一方、中心となる大阪の梅田駅にターミナルビルを建設し、1929(昭和4)年には日本で最初のターミナルデパートを開業しました。このような手法は、私鉄各社の沿線開発モデルとなり、市街地が郊外へと拡大していきました。

アクティビティ に挑戦 AI

「母性保護論争」を考察する



ワークシート

見方・考え方

三人の意見を比較し、現在のつながりに着目しよう。

学習課題

女性の社会進出が進むと、「結婚・出産・育児で、女性が仕事を続けることが困難になった際、保障をどうすべきか」という問題が浮上し、女性運動家によって女性の権利や社会のあり方が議論されました（「母性保護論争」）。資料から、当時の社会の課題について考えましょう。

テーマ 大正時代の女性の社会進出に際して、出産や育児の負担をどのように解決すべきだろうか。

●三人の女性運動家の意見

	育児における男性と女性の役割について	国からの保護について	これからの女性や社会のあり方について
 与謝野晶子の意見	女性が母になることだけが最上の幸福だとは考えません。私は夫の労働のみに頼らず共稼ぎの家庭を続けています。労働を分担すれば全体の労働時間が短縮され、男も女も経済的、精神的に余裕ができ、家庭の仕事も男女で行えるでしょう。	女性が経済上の保護を要求する主張に反対です。女性が男性に頼ることが問題であり、それと同じ理由で、国に頼ることもやめ、女性が経済的に独立すべきです。	労働制度を私たちに最も適した制度に変えるべきです。働く女性が、出産や育児の時期に休んでも、平常と同じ報酬を得られるようにする必要があります。また、今後は保険によって費用を賄う保育施設ができるようにすべきです。
 平塚らいてうの意見	もともと母は生命の源泉であって、女性は母になることで個人から社会的、国家的な存在になるのです。女性は母としての役割をまっとうし、その仕事(育児)を保護することが、全社会の幸福のため、全人類の将来のために必要です。	母子への保護は、その母子の幸福だけでなく、国の利害に大に関係することですから、国として行うべき政策であって、決して慈善救済の事業ではありません。	民法では、男性が妻子を養うことを義務づけていますが、母の生活がその夫によって保障されるのは、実際には難しい状況です。そのため、国が母の仕事に対して報酬を支払うべきとともに、女性自身が経済的自覚をもって権利を要求することを望みます。
 山川菊栄の意見	男女の分業はあまりにも均等を失っています。私は男性を、妻子を養う義務から解放するとともに、女性を家庭から解放し、男女が協力してそれぞれ適する社会的な労働を行うべきだと考えます。	女性の経済的独立や国からの保護は共に結構で、両方行われた方が現在の社会において、女性の地位を確かなものにするものだと考えます。	科学の進歩や育児を社会に委ねることで、女性の家庭における負担は軽減しています。今後、育児を社会がさらに担うことができるようにすることで、女性の負担がもっと減るのです。

TRY 整理しよう ①三人の主張を読んで、それぞれ自分の考えを整理しよう。「共感した点を実現するために課題となる点」を挙げる際は、誰のどの意見の部分か分かるようにしよう。

人物	共感できる点	共感できない点	共感した点を実現するために課題となる点
与謝野晶子			
平塚らいてう			
山川菊栄			

社会の新しい動きに伴ってさまざまな問題が発生し、その度に解決に向けて議論がなされました。歴史的な背景を踏まえ、当時の社会で何が課題とされたのか、その論点を整理して、解決策を考えることが、歴史を学ぶ際には大切です。

資料1 女性活動家のプロフィール

与謝野晶子
1878～1942

11人の子どもを育てた歌人

歌集「みだれ髪」などを発表し、女性の自我を情熱的に表現しました(→p.211)。また、評論家としても活動し、男女平等教育の実践など、女性の自立を訴えました。歌人である与謝野鉄幹と結婚して11人の子どもを育て、文筆活動で一家の家計を支えました。

小地公

平塚らいてう
1886～1971

『青鞥』を発刊し女性の権利を宣言

女性は結婚して夫に従属するという、当時の女性の生き方に疑問をもち、青鞥社を結成し、女性による、女性のための雑誌『青鞥』を発刊しました(→p.241)。1920年には新婦人協会を結成し、女性の政治集会権の獲得に貢献しました。年下の男性と事実婚し、2児をもうけています。

小地公

山川菊栄
1890～1980

男女平等の考えを広めた社会主義者

女子英学塾(→p.194)で外国の女性解放運動を学び、高い分析力と科学的な視点から「母性保護論争」に参加していきましました。1921年には、日本で初めての女性による社会主義団体を結成しました。また、第二次世界大戦後には、労働省の初代婦人少年局長に就任しています。

資料2 当時の女性の労働と家事をめぐる環境

	回答者のうちの既婚者の人数	その割合
教員	94/132	71.2%
タイピスト・事務員・店員・看護婦・電話交換手	54/768	7.0%

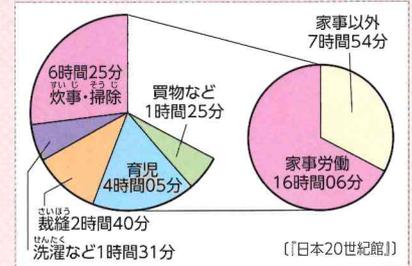
〔「職業婦人に関する調査」〕

↑1 職業婦人の既婚率(1924年)

小中学校教員・記者・速記者・車掌・女給など	70～100円	事務員	35円
タイピスト	50円	電話交換手	35円
看護婦	50円	女工	26円
		女中	15円

※当時、経済的な自立に必要な月収：約60円
〔「職業婦人に関する調査」〕

↑2 主な女性の職業とその平均月収(1924年)



↑3 大正時代の主婦の家事時間

考えよう ②女性の社会進出について、あなたは三人のうち、誰のどのような意見に賛成するだろうか。あなたがこの時代の課題と考えたことを明確にして、その理由を書こう。

私は、(与謝野晶子 ・ 平塚らいてう ・ 山川菊栄) の
()
という意見に賛成です。
なぜなら、私は、
()
と考えたからです。

表現しよう 対話

- ③グループになって、②の自分の意見を発表し合おう。それぞれが賛成する意見を実現するために、当時の社会で一番の問題点は何であったか、当時の民法の内容(→p.203)や今までで学習したことを踏まえて、話し合ってみよう。
- ④当時問題であったことが、その後どのように解決されたのか、または、解決の途上にあるのか、現在の社会の状況などを踏まえて、予想を話し合ってみよう。